

公益社団法人 横芝光町シルバー人材センター

令和3年度事業報告書

1、基本方針

横芝光町におきましては、65歳以上の高齢者の割合が約36.6%に達しています。高齢者自身の生きがいや生活の充実のためにも働くことが重要となってきているものと思います。

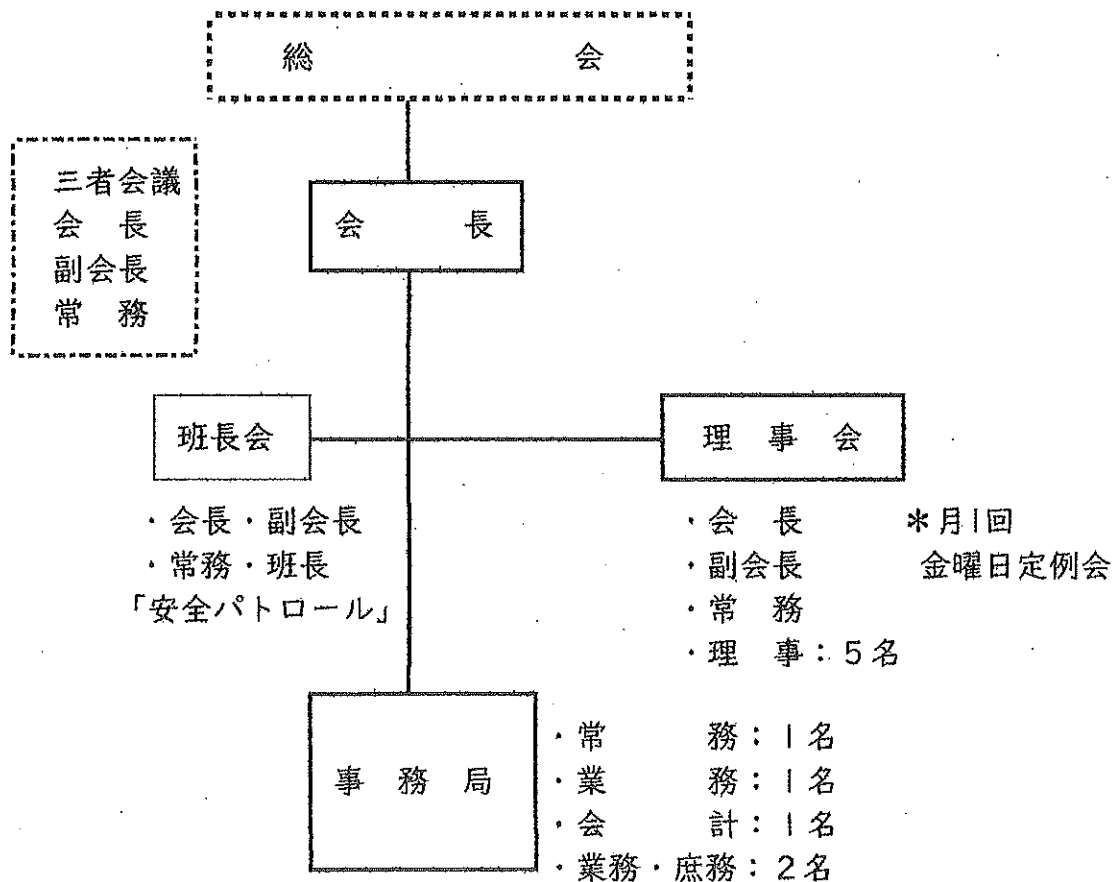
このような状況に鑑み、横芝光町シルバー人材センターでは「協働・共助」「自主・自立」の精神に基づき、仲間たちとの労働や交流を通じて生きがいづくりに努めて参りました。また、就業を援助して、高齢者の能力を積極的に活用し、もって福祉の増進に資するよう努めて参りました。

2、重点施策と運営の強化

(1) 組織の明確化と職務の明確化

会員、事務局職員、役員それぞれが果たすべき役割と責任を明確にし、体制の強化に努めて参りました。

① 組織図



② 職階制に基づく職務内容

「職階制とは、職務権限を付与し責任を持って職務を遂行すること。もって職務の効率的な遂行を図る。」

ア 会長

- ・横芝光町シルバー人材センターの事務を統一して管理する。
- ・会員相互の融和を図る。
- ・会員の入退及び理事の提案権を行使する。
- ・対外交渉を司る。

イ 副会長

- ・会長を補佐する。
- ・会長が欠けたる時は、その職務を代理・代行する。

ウ 理事会

- ・シルバー人材センターの管理・運営に助言する。
- ・法人としての意思決定をする。
- ・議決事項は、過半数をもって議決する。

エ 事務局

- ・シルバー人材センターの事務を司る。

(総務)

- ・広報・仕事の受付・見積もり・仕事分担を司る。
- ・備品整備・管理する。
- ・課題・問題点等を話し合い、改善する。

(会計)

- ・会計事務を司る。

③ 会員

- ・地域班、職群班の役割を再確認し、その活性化に努めました。
 - ア 地域班については、各地域から理事を選任し意見集約と活性化に努める。
 - イ 班編制をし、適正班による仕事の能率を図る。

④ 職員

- ・事業運営の実務担当として、ルールの遵守とスキルの向上に努める。

⑤ 役員

- ・速やかな意思決定と的確な指示を発信できるよう日頃から情報収集に努める。
- ・随時、三者会談を実施し、職務のスムーズな運営を図る。

3、事業の概要

(1) 概要一覧

(3/31 現在)

年 度	契 約 金 額	受 注 件 数	就 業 延 べ 人 員
令和元年度	86,378千円	993件	14,576人
令和2年度	88,662千円	1,059件	13,678人
令和3年度	113,630千円	1,470件	18,561人

(2) 普及啓発活動について

- ① 会員全員に、就業状況や理事会・班長会・事務局から話し合われた内容や依頼についてシルバー便りを発行し、活動内容を広めた。
- ② 町民会館・町図書館・病院など、町内公共施設にパンフレットを置いたり、ポスターの掲示などにより、シルバー人材センターの周知に努めた。

(3) 就業機会確保と拡充、会員の確保について 会員の推移

(3/31 現在)

令和 元年度	男 68名	女 56名	計 124名
令和 2年度	男 88名	女 61名	計 149名
令和 3年度	男 108名	女 71名	計 179名

- ① 近隣の企業を訪問し、就業機会の確保に取り組みました。
- ② 迅速丁寧な仕事を心がけ、依頼者の信頼をいただくよう取り組みました。
- ③ 新聞折り込みチラシ・会員一人一人による勧誘などにより、新入会員確保に努めました。

(4) 安全就業の確保と指導について

- ① 受注後、下見をし、作業内容の確認と危険箇所などを班長等に周知した。
- ② 屋外就業の際には必ず反射板付きベスト・ヘルメット着用を徹底しました。
- ③ 「安全就業ハンドブックポケット版」を配布し、安全意識を高めた。
- ④ 安全パトロールを実施し、安全就業の徹底を図りました。
- ⑤ 作業班の班長に、事故防止と安全就業を図るため作業前打ち合わせをするよう指導しました。

(5) 派遣事業の拡大について

派遣事業法に基づき、企業訪問等により拡大に努めて参りました。

(6) 福利厚生・健康促進について

- ① 会員相互の仲間意識の向上や信頼関係の醸成を図った。(認め合い、支え合う精神の基に実践してきた。)
- ② 納涼会や親睦旅行を計画していたが、コロナ感染症の影響で実施できなかった。
- ③ 親睦会の再興により、会員相互の親睦深める計画を立ててきた。
- ④ 会員相互や小グループによる会食会を行ってきた。

(7) 行政、関連団体との連携強化

地域に根ざし安定したセンターの運営を図るため、町行政や関係機関など多方面からの支援が必要であるので、関係強化に努めた。

- ① 町行政や関係機関と報告・連絡・相談を積極的に行った。
- ② 全シ協、千シ連、東総地区連絡協議会等と情報交換を行い、事業の進捗に努めた。

4、安全・適正就業の推進

(1) 令和3年度事故発生状況

No.	月	日	内 容
①	5月	12日	木材伐採中脚立より落下
②	8月	01日	自動販売機ハーネス断線
③	10月	06日	光引き込み線を切断
④	11月	04日	飛び石によるガラス破損
⑤	11月	12日	飛び石によりガラス破損
⑥	11月	18日	飛び石によりガラス破損
⑦	12月	15日	プレハブガラス破損
⑧	12月	23日	草刈り機による断線
⑨	3月	4日	帰宅時、自転車転倒 腕を骨折

上記9件の事故が発生しました。注意不足の面は否めなかったと思われます。担当者や班長等に注意をしたり、班長会で対応を協議し再発防止に取り組みました。その際、安全対策に対する意識の向上や機械の取り扱いに気をつけるよう研修等を行うことを決定しました。また、事故が繰り返されるようであれば、負担のあり方についても考えていくという方針です。

(2) 重点施策

会員自らが健康管理に努め、協働・共助によって事故や怪我のない安全な就業に努めました。

- (1) 入会説明会や就業段階で随時安全教育を行い、意識の高揚を図りました。
- (2) 就業先での安全を確保するため、班長等による入念な準備を行いました。
- (3) ワークシェア、ローテーションを適宜行い、作業負担の軽減や公平性を図りました。
- (4) 安全・適正委員会のさらなる活性化を図り、現場巡回を通して安全に関わるルールの徹底を図りました。

(7) 課 題

①会員数の増大が望まれます。増加のためには、就業機会の拡大が必要と考えます。

【例】・介護関係の仕事・農業関係・林業関係・派遣関係等

②事故件数が高止まりしています。安全意識の向上と同時に、安全面の研修が必要とされます。

【例】刈払機講習・交通安全講習・剪定講習・安全作業講習（事例研修含）等

③より高い作業の完成度が望まれています。より高い技能と倫理観が必要と考えます。日頃の研修と依頼主との信頼関係構築が望まれます。

④新しい組織が整いつつありますが、より組織の活性化と進歩が必要と思われれます。日々向上していくことが望まれます。